

本講座における研究について
テーマ「日本における whipple 病の臨床病理学的解析」

総研究期間：倫理審査委員会承認日-2022年 3月 31日

対象：Whipple病と診断された方

本講座ではこのたび上記テーマ（申請者：琉球大学大学院医学研究科細胞病理学 教授 加留部謙之輔）の臨床研究を行うこととなりました。

Whipple 病は、*Tropheryma whipplei* (*T. whipplei*) という細菌による感染症であり、全身に多彩な症状を引き起こします。これまで世界では 1000 例程度の報告がある。一方、本邦においてはその報告は非常に稀であり、10 例にも満たない状況です。この疾患は HLA という遺伝子がある特定の型の人に起こりやすいと言われていますが、この型は日本人にはほとんど存在しないものであり、本邦における疾患頻度の低さと関連していると思われます。

Human T-lymphotropic virus type-I (HTLV-1) というウイルスがあり、白血病や免疫力低下などの疾患と関係があると言われていています。沖縄では、HTLV-1 ウイルスの頻度が他の地域よりも高いことが知られております。本研究では、本邦、特に沖縄県における whipple 病と、HTLV-1 ウイルスの間に何らかの関連性が存在するのではないかと仮説に立ち、whipple 病の臨床的所見、組織学的所見を調べるものです。

この研究は、whipple 病の患者さんから診断のために採取された検体の”残り”を活用しますので患者さんの負担が増えることはありません。

保存する検体には保存のための別の番号が付けられます。その検体番号と病院名、施設内 ID 番号、病型、性別、生年月日とが連結可能な形で、管理台帳ファイルに管理・保管されます。管理台帳ファイルは当院内でパスワードをかけたコンピューター内で保管され、第三者が患者さんを特定することはできません。この研究に参加された方々の年齢や性別、検査結果などは学会や論文で公表・使用されることがありますが、個人が特定されることはありません。また、この研究の記録が適切に残されていることなどを確認するために、当院の関係者が診療記録を見せていただき、内容の照合を行うことがあります。本研究の研究者、研究分担者に申告すべき利益相反はありません。本研究は琉球大学のヒトゲノム・遺伝子解析研究に対する研究倫理審査委員会にて承認を受けて進めます。使用に同意されない場合は自由に使用の拒否ができますし、それによっ

て診療の内容が影響することは一切ありません。

ご不明な点は、以下にお問い合わせください。

琉球大学大学院医学研究科細胞病理学

教授 加留部 謙之輔 (かるべ けんのすけ)

TEL: 098-895-1123

FAX: 098-895-1407)